

SMBC 日興証券株式会社：産業・サステナビリティ戦略部とフロッキー編集部連携による個人投資家へのサステナブル投資の浸透に向けた取組

背景・目的

SMBC 日興証券株式会社（以下、「SMBC 日興証券」）は「日興フロッキー」（以下、「フロッキー」）という、投資情報メディアと取引機能が一体化した投資サービスを展開している。2016 年より開始した WEB サイトで、お金に関する記事を一般公開し、既に 3000 本以上を公開している。また、SMBC 日興証券のダイレクトコースで口座を保有する個人顧客は、記事中のボタンから株を 100 円から、d ポイントでも購入できる機能を備えている。

立ち上げ時にはデジタルメディアの経営者や大手広告代理店グループのクリエイティブエージェンシー、出版社出身の編集者、UI/UX デザイナー等をアドバイザーとして迎え入れ、コンテンツ制作やデジタルマーケティング、消費者の行動コミュニケーション等の助言を受け、現在も協働している。情報が溢れているインターネット上でクリックしてもらえるコンテンツを制作すべく、可愛いイラストやキャッチーなコピー等、コーポレートサイトとは異なる世界観で、SMBC 日興証券が提供している日興イーजीトレードとは別ブランドとして展開している。

フロッキーでは、2021 年より企業のサステナブルファイナンス支援を担うセクションである SDGs ファイナンス室（現、産業・サステナビリティ戦略部）の寄稿によるサステナブル投資に関する連載が続けられている。SDGs ファイナンス室立ち上げ時のメンバーが「個人投資家に対してもリーチできる総合証券会社の役割として、発行体のサステナビリティ活動を伝えていきたい」という思いから編集部へ寄稿を提案したことで連載が始まった。現在フロッキー編集部（以下、「編集部」）以外で社内スタッフが連載を執筆しているのは同セクションのみである。

概要

様々なフロッキーの連載企画のうち、一部を紹介する

- 上場企業の社長に聞く！夢とお金の本質
- 今週の銘柄トレンド Watch
- 日興フロッキー版 妄想する決算
- 直近の値動きから見るテーマ株
- 投資がもっと楽しくなる！日興フロッキー選書
- 優待ライター厳選！ 今月の株主優待
- FROGGY COMIC・朝倉世界のひとコマ格言 他多数

連載企画のうち、産業・サステナビリティ戦略部が寄稿するサステナブル投資に関するものは以下の通り。

- 「これだけは知っておきたい ESG 投資のこと」（2021 年 4 月～2024 年 10 月）
 - ・ESG（イーएसジー）投資ってそもそも何？
 - ・ESG 投資のメリットって？
 - ・ESG 投資、自分でやってみるには？
 - ・環境省に聞く！ニッポンの ESG 投資の未来【前/後編】
 - ・「水素社会」ってなに？
 - ・「脱炭素社会」ってなに？
 - ・なぜプラスチックが問題なの？
 - ・グリーンボンドってなに？環境に配慮した企業の資金調達、他
- 「未来を変える！サステナブル投資」（2024 年 11 月～）
 - ・サステナブル投資は未来への投資
 - ・ペロブスカイト太陽光電池が切り開くカーボンニュートラルへの道

「これだけは知っておきたい ESG 投資のこと」では、ESG 投資の中でも基本となる概念を取り上げてきたが、近年、企業のサステナビリティへの取組が事業としても具体化し、個人投資家に継続的

に伝えられる段階になったので、2024 年 11 月より新体系に移し、先進的でユニークな取組を紹介していく連載「未来を変える！サステナブル投資」をスタートした。

実績

2024 年（集計期間 2024 年 1 月 1 日～11 月 25 日）に株が買われた記事のトップ 10 は以下の通り。

図表 1：日興フロッギー「みんな、どの記事から株買った？ 2024 年の人気記事ランキング」より作成

順位	記事タイトル
1 位	【保存版】日興フロッギーで買える ETF
2 位	オール・カンントリーや高配当など、ETF11 本を追加！
3 位	NISA の成長投資枠で「年間配当 10 万円」を目指す方法
4 位	NISA で米国株 ETF に投資する方法
5 位	NISA で世界株 ETF に投資する方法
6 位	生成 AI ブームで半導体企業に商機 「エヌビディア」関連株が上昇
7 位	新しい NISA で作ろう！「じぶん年金～東証 ETF 編～」
8 位	ニンテンドースイッチに後継機？ 「ゲーム」関連株が上昇
9 位	NISA で配当株 ETF に投資する方法
10 位	優待新設&拡充ラッシュ！ 8 月の優待 8 選

出典）日興フロッギー「みんな、どの記事から株買った？ 2024 年の人気記事ランキング」より作成

サステナブル投資に特化した記事はベスト 10 には入っていない。閲覧数も他記事と比較して高いとは言えない。一方で、テレビのニュースで取り上げられたり、実態経済に影響が出始めている課題、例えば脱炭素・少子高齢化・人手不足等については、課題解決に商機があると考えられる企業については投資銘柄として注目が集まり、記事へのアクセスも増加傾向にあると、フロッギー編集部では受け止めている。また、上場企業の社長へのインタビューでも、サステナビリティ課題の解決への取組に触れられるケースも出てきており、そういった記事から、少額投資で一定数以上の株式が買い付けされており、応援投資に繋がっていることも窺える。

取組を実施するにあたっての組織の方針や体制

○産業・サステナビリティ戦略部と編集部の役割

・時流にあったテーマや目新しく話題性のある企業の取組を候補に挙げ、編集部がメディア運営の観点から意見を。原稿作成の流れとしては、産業・サステナビリティ戦略部の取り纏め役が部内にテーマを募集し選定する。テーマ選定に際しては、編集部とも事前に連携し、違和感の無いものか確認を行う。その後、テーマ毎に産業・サステナビリティ戦略部の人員が持ち回りで原稿の執筆を行う。並行して編集部は記事に使用するイラストの発注や、取り上げる企業からの素材提供のサポートを行い、記事が上がってきたら、読みやすい原稿や構成についてアドバイスをし、審査を経て記事化する。

○編集部の体制

編集部は外部委託者と SMBC 日興証券の社員で構成されており、社員はフロッギー立ち上げ時からの従事者 4 名と、経験者採用や社内異動してきたメンバーも加わって現在総勢 14 名である。（2024 年 12 月現在）

○産業・サステナビリティ戦略部

2016 年に立ち上げられた SDGs ファイナンス室は段階的に機能とメンバーが拡充され、産業調査部との統合等を経て現在の部となる。現在は 50 名程度で、企業のサステナブルファイナンス支援の他、サステナビリティ関連の開示対応や ESG 格付等のアドバイスを行っている。企業と接する機会も多いことから、企業のサステナビリティへの取組や業界を取り巻く環境等に関する深い理解が求められる部署である。

取組の今後の計画・広がりについて

フロッギーのメインターゲットとして位置づけている個人投資家にサステナブル投資の浸透を進めるには、サステナビリティ課題の解決に熱心な企業の業績と株価の相関を示す必要がある。ただ、サステナビリティ課題の解決は短期的に結果が出るものではないので、産業・サステナビリティ戦略部と編集部が連携し、継続することが重要だと SMBC 日興証券では考えている。掲載記事は、まだ業績には表れていないものの「ユニークで先進的な取組をしている企業」という切り口と、すでに「株式市場で上昇しはじめているサステナビリティ関連のテーマと銘柄」という切り口の両面から取り上げることで、関心を高めていくという戦略をたてている。

課題と課題解決のヒント、工夫した点、苦労した点

ESG やサステナブル投資の連載をすることについて、当初、編集部としては、ESG の取組と株価パフォーマンスの因果関係がまだ実証されていない段階で連載をしても、個人投資家にはあまり関心を持たれないのではないかと懸念していた。しかし、読者の嗜好を意識し、分かりやすく一貫した連載を重ねることで、一定数の読者が獲得できたと分析している。部署横断で協働し、編集部以外がオリジナル記事を執筆するのは初めてのケースだったため、連載開始当初はどのような取組を取り上げるべきかの基準づくりも苦労した。どのような取組や銘柄をピックアップしていくのかという点については、今後も検証を重ねていく。

<参照・引用した WEB サイト等>

- ・ 日興フロッギー <https://froggy.smbcnikko.co.jp/>
- ・ SMBC 日興証券へのヒアリング（地球・人間環境フォーラムが 2024 年 11 月 29 日にオンライン上で実施）